



# 冷たい区政を変える年です

# 元気でくらせる文京区に

緊急要望  
区長に提出

学校統廃合計画は白紙に戻せ

## 新大塚公園を守れ!

教育委員会は、五・七中の統廃校について、新大塚公園の一部を新校のグラウンドとして「兼用」する計画変更を行いました。

その説明会には130名もの区民が参加。「住民に相談もなく、公園を大幅に分割・縮小するもので公園の廃止に匹敵する」「区の都合だけで生徒のことを何も考えていない。急ぐ理由は何もない」と抗議が続出しました。

公園の現状維持と保全を求める「新大塚公園を守る会」の請願は、共産、市民、無所属が賛成しましたが、民主、公明、自民が否決し、区民の願いを葬り去りました。

## 政務調査費は領収証添付を

日本共産党は、政務調査費の収支状況報告書に領収証添付を義務づけるよう、第一回定例会で条例改正すべきだと提案しました。

## 区民アンケートお寄せください

みなさんにお配りしている区民アンケートをぜひ、ご記入の上ご返送ください。HPからもアクセスできます。

## みんなの春夏秋冬



石原知事の「超ぜいたく」 倉田 新

日本共産党は、区長に22項目の重点要望を中心にした子育て、介護、教育、まちづくりなどの新年度予算編成に関する要望書を提出しました。

文京区は、235億円を積立て、今年度も定率減税の半減や高齢者控除廃止など庶民大増税で9億円の増収見込み。税金は、区民のくらし第1で使うべきではないでしょうか。

## 莫大な補助金注ぐ 再開発計画は見直しを

60億円もの補助金を投入して超高層ビルを建設する茗荷谷駅前、後楽2丁目西地区の再開発につづき、区は、春日・後楽園駅前地区に100mを超えるビル建する大型再開発を計画。総工費が茗荷谷地区の3倍をこえる750億円、補助金も莫大です。全区的な区民の意見を聞き、抜本的に見直すべきです。

## 商店街振興策の具体化を

区商連との懇談会で要望をうけた商店街振興条例が制定され、会員拡大やアシストカードなどの助成が開始。大型店規制、装飾灯の電気代補助増額、共通買物券発行等の振興策が必要です。

## 文京区でも 30人学級を

全国で始まった少人数学級は大きな実績をあげています。「区独自に30人学級実施して」の請願は自民、公明、新生が反対。

## 耐震改修助成一区内全域で

無料の簡易耐震診断が昨年9月に実現。2地区限定の耐震改修工事助成は実績ゼロ。区内全域に広げる条例提案には、自民、公明、民主が反対。

## 学校の施設改修いそいで

学校調査で伺った臭いトイレの特殊清掃、暗い狭い痛んだトイレの改修や洋式トイレの設置、特別教室の冷房化、校庭や窓枠サッシの改修の実施を要望しました。

## 若者の雇用対策を

青年の雇用状況は深刻です。「ポケット労働法」を成人式で配布を(台東区)。就職相談窓口や就職面接会の開設、20歳からの無料健診(葛飾区)を提案。

## 保育園・児童館の増設を

保育園の待機児は118人、保育園の増設が急務です。「保育の質」の低下を招く民間委託は撤回すべきです。駒本小に育成室が設置、4月には向丘に開設されますが、千石地域での増設が必要です。



## 元町公園 文化財として保存を 都市計画審議会でも再び継続に

日本造園学会や文化財保護審議委員等の専門家や区民の公園保存の要求に押され、区は現況調査を実施。しかし、文化財保護審議会でも文化財的価値を検証しようとはしません。

日本共産党は、文化庁や都との協議経過や内容、専門家からの意見聴取、「旧元町小跡地等利用検討会」の検討内容を区民や議会に明らかにすること、都市計画公園の指定をはずさないよう申し入れました。

## 高齢者に安心なくらしを

介護保険制度の改定で、介護用ベッドが使えなくなった高齢者が増えるなか、文京区でもベッド購入費の助成を行うことになりました。(詳しくは介護保険課にお問い合わせください)

高齢者への住民税等の増税と国保料・介護保険

料の負担増は、くらしを直撃しています。

日本共産党は、東京都に「マル福」医療費の復活を求め、文京区で介護人手当の新設、シルバーピア建設やマンションの借り上げ実施など高齢者の生活応援にとりくみます。



元町公園にて



小竹都議(中央)を囲んで、左より まんだち、島元、いたくら、高畑、関川、佐藤、小林、こうだの各氏